



【TOPICS】

- ポリテックビジョン開催報告（東北ブロック/東海ブロック）・・・1
- 第48回技能五輪全国大会神奈川大会報告（旋盤職種）・・・3
- 第32回全国障害者技能競技大会神奈川大会報告（建築CAD職種）・・・4

【ポリテックビジョン開催報告】

第9回 東北ポリテクニクビジョン開催

今年度は東北職業能力開発大学校をメイン会場として、附属校である青森職業能力開発短期大学校、秋田職業能力開発短期大学校や東北地方に所在する職業能力開発施設が参加し、次のテーマ内容で開催された。

【開催テーマ】 ものづくり 地域への貢献

宮城県は『富県宮城』を合い言葉に企業誘致に引き続き積極的に取り組んでいる。このような中で当校における人材供給・育成の機能についても期待されている。ビジョンの内容としては、東北6県の職業能力開発短期大学校・大学校の学生による卒業研究・制作の発表及び職員による職業能力開発等にかかる日常的研究成果の発表をはじめ、今年宮城県に本社移転の自動車産業会や宮城県建築士会女性部会（図1）から下記の講演会とパネルディスカッションがなされた。

◆講演テーマ 「自動車産業への参入に向けたQCDレベルの向上」

講演者 鎌田 定明 氏

セントラル自動車株式会社 組立部次長、現宮城県経済商工観光部参与

◆パネルディスカッション 『21世紀のジェンダーを考える』

（社）宮城県建築士会女性部会

また、機械系では旋盤技術競技会、旋盤技術競技エキシビション。電子系では電子機器組立て技術競技会（図2）、電子機器組立て競技エキシビションなど学生による技能・技術を競う競技会や技能五輪選手によるエキシビションなどが行われた。さらに東北にある専門課程の学生が総合制作実習で制作した自立型ロボットによるビンゴロボット競技会が行われ熱戦を繰り広げた。

（東北職業能力開発大学校 奈須野 裕）



図1 宮城県建築士会女性部会



図2 電子機器組立て技術競技会

第15回 ポリテックビジョン 「ものづくり・人づくり イン 東海」

平成23年2月25日に東海職業能力開発大学校の所在する岐阜県揖斐郡大野町にある大野町総合町民センターで第15回ポリテックビジョンが開催されました。記念講演として『はやぶさ ～あきらめない日本の夢～』のテーマで、京都大学教授 現内閣官房 宇宙開発戦略本部 事務局長 山川 宏氏より小惑星探査機「はやぶさ」の打ち上げから帰還までの物語と、それを支えた技術者たちの「あきらめない」力について熱く語っていただきました。

また、「ふれあいホール」という大ホールにおいて専門課程の学生における総合制作実習、応用課程の学生における開発課題実習の発表会が行われ、緊張しながらも一生懸命発表する姿が見られました。小ホールではそれらの成果物の展示やデモンストレーションが行われ、見学者の様々な質問にがんばって答えていました。さらに展示コーナーでは、附属校である浜松短大の総合制作の成果物、ポリテクセンター中部の紹介コーナーでは、セミナー教材や製作物の展示が行われました。職員による企業との受託研究・共同研究の成果物の展示およびデモンストレーションも行われました。

来場者は、近隣の一般の方、企業の方に加え、学生の就職内定先企業の方も多く見られ、当校および機構全体の教育訓練、能力開発事業のPRとなりました。

(東海職業能力開発大学校 佐々木 英世)

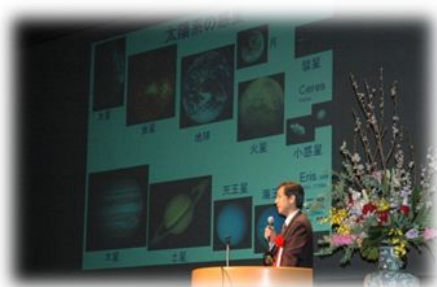


図1 記念講演の様子



図2 記念講演で質問をする学生

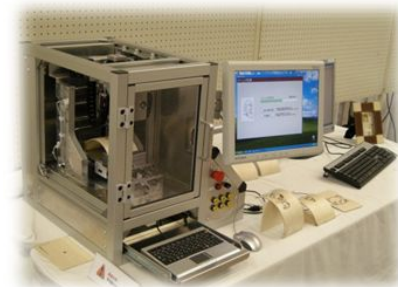


図3 開発課題作品

【第 48 回技能五輪全国大会神奈川大会報告】

第 4 8 回技能五輪全国大会旋盤職種の開催について

第 4 8 回技能五輪全国大会は、平成 2 2 年 1 0 月 2 2 日～2 5 日の期間、中央職業能力開発協会と神奈川県との共催で、横浜市や川崎市内の各会場で、機械組立てや電気溶接など 4 0 職種が開催されました。

技能五輪全国大会は、広く国民一般に対して、技能の重要性、必要性をアピールし、技能尊重気運を醸成する事を目的としています。今大会での各職種の優勝者には、平成 2 3 年 1 0 月にロンドンで開催される国際大会への参加資格が与えられるので、参加者には例年以上に気合いが入った大会と成りました。以下、旋盤職種について、状況を報告いたします。

旋盤職種の参加選手はこれまでの最高で、8 2 名（内 3 名は学生選手）が参加しました。5 グループに分けて 1 0 月 1 7 日～2 5 日までの 9 日間、神奈川県立東部総合職業技術校で実施されました。参加選手は毎年増加の一途です。企業では人材教育の目的で、技能五輪に参加する所が多く、特に大企業では、選任のスタッフとカリキュラムと予算の元で、計画的に選手の育成を行っています。昨今の不況の中でも、ものづくりを支えるのは技能と技術であり、人材育成が重要と、中小企業からも新たに参加する所が増えています。5 部品を 4 時間 4 5 分で作成し、組立てて摺動させる難易度の高い課題でしたが、大接戦の末、(株)日立プラントテクノロジー土浦事業所の阿部晴希選手が高得点で優勝しました。期待された学生選手は、今回は奮いませんでした。次回が期待されます。

また、第 2 6 回技能グランプリ旋盤職種競技会が、平成 2 3 年 2 月 2 8 日～3 月 3 日の期間、静岡県立沼津技術専門校で開催され、技能五輪の選手を指導する企業の指導員や、工業高校の先生も選手として参加されました。自分で体験したことを通して指導することは重要で、その熱心さに拍手を送り、指導成果を期待したいと思います。 *1 中央職業能力開発協会 HP 参照

(旋盤職種 競技委員主査 職業能力開発総合大学校 田中 義弘)

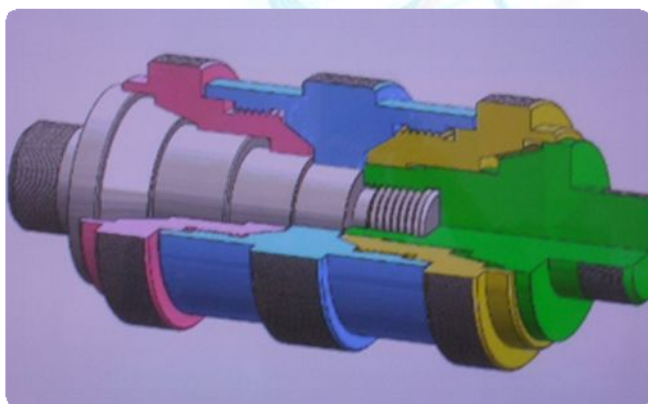


図 1 課題の組立モデリング図



図 2 競技の様子

【第32回全国障害者技能競技大会神奈川大会報告】

第32回全国障害者技能競技大会 建築CAD報告

2010年10月15日(金)～10月17日(日)に「第32回全国障害者技能競技大会」が神奈川県横浜市にて開催されました。22種目の技能競技と3職種の技能デモンストレーションがメイン会場の横浜アリーナにて実施されました。この大会は、2011年に開催される「第8回国際アビリンピック」の派遣選手選考を兼ねていました。第30千葉大会・31回茨城大会の金賞受賞者が招聘者としてこの大会の競技に参加しました。ただし、招聘者の成績は、派遣選手選考の参考として扱い、選手だけで成績を競いました。

技能競技のひとつである「建築CAD」は、CADシステムを用いて、建築家または建築技術者のスケッチ、構造に関する情報などから建築図面を作成する作業の正確さと速さを競う競技です。選手は、コンピュータとCADソフトウェアに関する知識と操作技術、建築と製図規則に関する知識を必要とします。建築CADは、4名の選手と第30回千葉大会で金賞を受賞した招聘者1名の計5名で競技を実施しました。課題は、スケッチや建具表などの資料を参照しながらCADシステムを用いてA3の用紙に1階が事務所、2階が集合住宅のビルの平面図、立面図、断面図を作図し印刷したものを作品として提出するものです。競技内容は、2007年に開催された「第7回国際アビリンピック」を踏襲し、設備ユニットのCADデータの利用、勾配屋根、立面図の階段を作図するための計算作業などいくつかの新しい要素を加えました。また、「第8回国際アビリンピック」を意識し、国際大会での使用が予想されるCADソフトを利用し、課題の作図量も増やしました。

競技前日である15日(金)13:30～15:00の競技会場下見において、競技の説明、CADシステムの動作チェック、最後に課題を配布しました。選手は、翌日の競技開始直前まで、課題内容を分析して、寸法の割り出しや作図手順の検討などを行います。16日(土)は、8:30から競技説明、9:00～12:00の3時間で競技を実施しました。

競技の結果、作品の完成には至りませんでした。成績上位の選手が銀賞、銅賞をそれぞれ受賞しました。招聘者は、金賞を受賞した第30回大会とは、異なるCADソフトを使用しましたが、金賞レベルの作品を仕上げる事が出来ました。

この大会の結果を踏まえ、招聘者と銀賞受賞選手が第8回国際アビリンピック派遣選手に決定しました。最後に、競技を無事に終えることができたことを関係者に心から感謝します。

(建築CAD 専門委員主査 職業能力開発総合大学校 水嶋 克典)



図1 競技会場風景



図2 作品見本

編集後記

この度の東日本大震災で被害を受けられました皆様に、心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を祈念致します。

今回は 2011 年春号として、東北ブロックと東海ブロックのポリテックビジョンの開催報告を紹介させて頂きました。また、当会員が活躍しております第 48 回技能五輪全国大会神奈川大会と第 32 回全国障害者技能競技大会神奈川大会の競技報告を掲載致しました。次号は、いよいよ 2011 実践教育研究発表会 千葉大会特集を中心に掲載する予定です。

WEB ニュース編集事務局では、皆様からの各地のポリテックビジョンや催し物に関する情報をお待ちしております。記事半ページ程度、写真 2 枚程度を添付していただき、以下のメールアドレスへ直接、もしくは編集事務局まで封書でお送りください。またこちらからも記事のお願いをすることもありますが、そのときにはご協力くださいますようよろしくお願いいたします。

例年、この時期になりますと、異動した方もいると思います。勤務先、メールアドレスの変更は、分かり次第、実践教育訓練協会事務局までメールまたは FAX にてお知らせください。



発行責任者：大竹 勉

発行：(社)実践教育訓練研究協会事務局

〒185-0021 東京都国分寺市南町 2-18-36-203

TEL 042-300-1651 FAX 042-300-1652

<http://www.jissen.or.jp/> E-mail: jissen@jissen.or.jp

編集責任者：中谷 努

編集事務局：職業能力開発総合大学校

〒252-5196 神奈川県相模原市緑区橋本台 4-1-1

TEL・FAX 042-763-9163

<http://www.jissen.or.jp/> E-mail: jissen@jissen.or.jp

広報委員会 Web Jissen News 編集部門：田中義弘・中谷努・御田村真毅

広報委員会 Home Page 編集部門：小玉博史・新島泰宏・有田浩之・永野秀浩

広報委員会 委員長：有田浩之

発行・編集：(社) 実践教育訓練研究協会 広報委員会

JISSEN NEWS 2011 春(No.171)

